

2022（令和4）年度 自己評価・学校関係者評価報告書

2023（令和5）年3月3日

学校法人雲柱社 松沢幼稚園

1. 本園の目標

- ・キリスト教に基づく保育（自らを尊び、他者を尊ぶ）
- ・遊びを大切にする保育
- ・自然を感じる保育

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

- ・昨年度から始まった2歳児保育の取り組みの中で、子育て世代のニーズや不安を把握し園児獲得に繋下、3歳児保育の充実を図る。
（園児の獲得と3歳児の保育の充実へ繋げる）
- ・インターネットを活用した業務支援システム（ICTシステム）を導入し、保育記録の入力や書類作成、登降園管理、各種情報の閲覧などを行うことで、園児の状況を職員で共有できるようにする
- ・新しい試みとして、保護者を支えるために預かり保育を始める。保育の様子を預かり保育担当の職員と連携を取り、共有していく。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	園児の獲得	B	<p>ほしぐみ園庭開放の充実 未就園児親子を対象に月1回程度園庭を開放しているが、季節に合った工作等材料を準備し、持ち帰ることができるようにした。また、3学期には年長組や年中組との交流の機会を持った。</p> <p>子育てサロン 未就園児親子を対象に、子どもを遊ばせながら、子育て相談や幼稚園の取り組みなどを話した。在園の保護者が出席し、幼稚園の様子等話してもらった機会を作った。また、幼稚園を初めて知る保護者に対しては、園内見学を実施した。</p> <p>わらべ歌に精通している職員（神保和子）が未就園児親子を対象にわらべ歌の会を行った。（4回）</p> <p>外部講師を招き、0歳から1歳を対象にベビーマッサージの講座を開いた。（2回）」</p> <p>ホームページの充実 Googleのオーナー登録をし、写真の変更を行った。オーナー登録後10,000回以上の閲覧されている。保護者による口コミが掲載される。（4件）</p>
2	記録のICT化	A	<p>来年度からのシステム導入のために、8社のICTシステムを比較し、「キッズダイアリー」と契約をした。</p> <p>担任一人一台ずつのパソコンを購入し、ICTシステムについ</p>

			での勉強会をした。
3	預かり保育への取り組み	A	学年を超えた園児たちが、家庭的な雰囲気の中での預かり保育に参加できた。 預かり担当の職員が日誌を書きそれを共有することで園児の様子を共有した。 預かり保育専用の遊具を検討し購入した。

評価 A.十分に成果があった B.成果があった C.少し成果があった D.成果がなかった

4. 総合的な評価結果

	理由
A	園児獲得のために様々な試みをした。人数獲得が困難の中にも、試みは参加者から評価されていた。 来年度の ICT 化に向けて、具体的な準備が進められた。 今年度から始まった預かり保育は、保護者の利用も増え、園児も喜んで利用している。家庭的な雰囲気の中、保育時間では出会わなかった多年齢の園児同士の交流もあり、お互いに刺激し合って成長している姿が見られた

評価 A.十分に成果があった B.成果があった C.少し成果があった D.成果がなかった

5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	保育の見える化	<ul style="list-style-type: none"> ホームページやInstagramを利用し松沢幼稚園の保育を「見える化」する。 現場だけでなく、いろいろな人の意見を取り入れる。 園外に出掛けていき、地域の人や育った環境に親しみを持つ。 社会福祉協議会と繋がり、地域の人との触れ合いを検討する。
2	記録の ICT 化 (引き続き)	<ul style="list-style-type: none"> ICT システム「キッズダイアリー」を導入し、保育記録の入力や書類作成、登降園管理、各種情報の閲覧・などを行うことで、園児の状況を職員で共有できるようにする
3	課外活動、未就園プログラム、長期休暇等の見直し	<ul style="list-style-type: none"> 新しくダンス教室を始める。(課外教室) 長期休暇中の活用について検討する。 わらべ歌、ベビーマッサージ、絵本講座、親子ヨガ教室等、未就園児や保護者が参加できるプログラムを検討し、ポスターやホームページ、社会福祉協議会のメールマガジン等で外部に知らせていく。

6. 学校関係者評価委員会の評価

園児の獲得については昨今の情勢もあり難しいところもあるが、幼稚園として子育て世代へ貢献できることを積極的に行い、続けていくことに意味がある。ICT 導入により、今後保育の充実が図られる事を期待する。今年度から開始した預かり保育に関しては保護者のニーズに応える事ができ、また利用園児に対しては家庭的な雰囲気の中、細やかな対応がなされている様子が大変好ましい。来年度は日々の保育を充実させることに加え、課外活動や長期休暇中の園の活用などによって園が成長していくことを期待したい。